



今月の予定

- ① 第 3 回企画・広報委員会 支部会議室
12月2日(火) 11:00 ~ 13:00
- ② 平成 26 年度安全パトロール
12月5日(金) 09:00 ~ 17:00
- ③ 第 100 回 道路美化・清掃活動 前半グループ
12月16日(火) 10:00 ~
- ④ 第 3 回幹事会 支部会議室
12月19日(金) 12:00 ~ 13:30

会員だより

730・ナナサンマルの記憶!

日本道路建設業協会沖縄支部の皆様、日々の支部活動ご苦労様です。

今年の5月29日幹事長に任命されました大成ロテック(株)沖縄事業所の辻直視です。

さて、私事では御座いますが、私は昭和51年4月に現在の会社に入社しました。そして最初の勤務先が沖縄でした。皆様もご存知のとおり、その頃の道路は右側通行でした。今でも心に残っているのが、ナナサンマル。この歴史的な、沖縄における道路交通方法の変更に携われた事です。昭和53年7月30日6時00分に実施され、沖縄の道路が一変して右側通行から現在の左側通行に変更された一大イベントでした。

当時、当社が国道事務所の維持工事を担当していた事から、この事業に参加でき私の人生の中でも、自慢の出来るもののひとつです。各社員が、交差点1箇所を担当し、仮中央分離帯(土嚢にて作成)を一晩のうちに、右側通行用から左側通行用へ移行する作業でした。作業が予定どおり完了し、予定時刻に瞬時に変更された光景は今でも脳裏に焼きついていきます。ほんとうに感動ものでした。

大成ロテック株式会社 沖縄事業所長 辻直視



全面通行止めの標識

当時のポスター・今も斬新だ?

その後、国道・空港等の工事に従事し、昨年の4月に異動で沖縄勤務となりました。二度目の沖縄勤務、実に33年ぶりの沖縄でした。最初と最後は沖縄ですか!これも何かの縁でしょう。また、時代が変わるこの時期(空港第2滑走路・普天間基地移設等)に沖縄勤務となった事を感謝したいと思っています。

会員だより

離島振興に貢献・学校の改築!

粟国島の粟国幼小中学校改築工事(平成26年11月4日に着手平成28年3月31日竣工予定)に從事することが決まりました。

島の概要及び地域環境を調べてみると、人口759人(平成26年9月30日現在、457世帯)で那覇市から北西約60kmの海上にあり、面積8km²の粟国島一島で空港と港湾が各一か所あります。65才以上の割合は沖縄県内(41地域中)1位。在校生は、幼稚園生10人、小学生41人、中学生20人となっており、今回の工事で旧校舎を取り壊し、新しく建て替えることになりました。

既存校舎に関しては、築35年(昭和54年完成)で比較的早い期間の建替え工事に思われますが、塩害や耐震強度低下等が激しく今回の工事発注となりました。建築環境として、島内に生コンプラントが1か所ありますが、1日の生産数量が150m³程度で、鉄筋コンクリート造の大型物件では島内での対応が難しく、プレキャスト(PC)コンクリ



粟国島全景

株式会社 大米建設 代表取締役社長 仲本 靖彦



完成予想図
設計監理
工事設計

ート工法を採用しました。耐用年数を長くすると共に工事期間の短縮を図ることができます。

村の事業計画の中でも最大の事業に関われる事は、光栄に思いますが、反面、工事期間内に無事故無災害で竣工させることができるのか、大きなプレッシャーも感じます。

それゆえに、工事が無事完了したときの達成感は今までにないものなのでしょう。島民に完成してよかったと思われ、また島民が誇れる建物(施設)にする為にこれから一生懸命、施工に励みたいと思います。

【建築部建築課 係長 又吉 康樹】

① 平成26年度 第33回道路技術講習会



(一社)日本道路建設業協会沖縄支部では11月25日(火)浦添市の産業振興センター・結の街で道路技術講習会を開催しました。講習会には20社55名が受講しました。始めに阿部技術積算委員長が「常に時代のニーズに応える技術の研鑽と向上に努めよう」と挨拶しました。第一講義は「アスファルト舗装の新技術について」と題して(株)NIPPO九州支店の山岸宏氏が、中温化アスファルト混合物の舗装への活用で、低炭素社会へ寄与する新技術の今後の動向について紹介しました。

第二講義は沖縄総合事務局建設産業・地方整備課の奥間朝宏氏が「建設業の社会保険未加入における現状と対応について」と題して、保険導入の背景と建設業の将来像について解説し、未加入対策を通じて若年層の業界への就業を支援する必要性を強調しました。

第三講義は沖縄総合事務局北部国道事務所の金城基樹氏が「北部国道事務所におけるヤンバルクイナロードキル対策について」と題して講演しました。絶滅危惧種であるヤンバルクイナを輪禍から守るため、クイナフェンスやクイナトンネルを設置することで、事故減少を目指す取り組みを発表しました。講習会終了後、CPDS受講証の交付がありました。



講習会の会場、熱心に聞き入る!

③ 第99回 道路美化・清掃活動



深まりゆく秋に、心地よい汗!

11月18日(火)に、13社、16名の参加を得て第99回道路美化清掃活動を行いました。

天気は曇り。やや肌寒くはありましたが、活動には最適な温度でした。16日(日)は知事選、市長選など大きな選挙がありましたが、その喧噪は今はなく、静かな日常を取り戻してました。しかし、選挙看板の結束バンド等の外し忘れが

② 「道の駅・ぎのざ」へAEDを寄贈!



贈呈式の記念撮影、中央左が眞村長、右が大濱支部長

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部ではAEDの贈呈式を、11月26日(水)の午後から宜野座村「道の駅・ぎのざ」で行いました。

AED(自動体外式除細動器)の寄贈は、日本道路建設業協会が、社会・環境貢献活動の一環として、全国の「道の駅」に贈呈を行っているもので、沖縄支部はこれまでに6箇所の「道の駅」に寄贈しており、今回の「ぎのざ」で7駅となります。

贈呈に当たり大濱支部長は「道の駅・ぎのざ、開所おめでとうございます。AEDの設置が地域コミュニティや道路利用者の皆さんにとって安心・安全の確保につながる一助になればと思っています。」と挨拶しました。

贈呈を受けた眞淳村長は「東海岸初の道の駅であり、ここにAEDを設置できたことに感謝したい。来客者や地域住民の、もしもの時の備えとして活用したい。」と謝辞を述べました。



道路をきれいに!しました。